

1866 The Struggle for Supremacy in Germany

公式 *Errata* – July 4, 2017

カードの **Errata** :

訂正 : カード #25 「dissolve」は誤記で、「Bismarck Dissolves the German Confederation」と読みます。

説明 : カード #3、4、6、7（「エルベ流域軍 [Army of the Elbe]」、「マイン流域軍 [Army of the Main]」、「野戦塹壕 [Field Entrenchments]」×2）は、カード最下部の「動員 [Mobilization]」バナーが抜けていますが、動員デッキ内にあります。カード #1～27 は動員デッキ、カード #28～55 は戦争デッキを構成します。

訂正 : カード #8 (Moltke) のテキストは間違いです。+ 2 **DRM** ではなく - 2 **DRM** と読みます。

説明 : カード #9 「最後の瞬間の和平発議 [Last Minute Peace Initiative]」

- 1) 対応カードに関する一般的な解説 6.25 を参照してください。このカードは、相手側による宣戦布告 (DOW) カードのプレイ直後にプレイされなければなりません。この場合、相手の DOW カードは完全に無効となり、しかもその作戦ラウンドは終了します。ここであなたの作戦ラウンドになります。もしも DOW の直後にプレイされなければ、後にゲームの中で対応カード/イベントとしてプレイできません。
- 2) 稀な例として、あるプレイヤーがカード #2 DOW と #9 の両カードを保持する場合、彼は自身の DOW のプレイをキャンセルするために #9 を使用できません。

訂正 : カード #30 「第II 予備軍団」 [II Reserve Corps] 「第1 予備 (1R) 師団」ではなく「第2 予備 (2R) 師団」と読みます。

説明 : カード #38 と 48 : 動員段階で、将軍たちは特定の国籍を基準に配置/再配置されます（下記の 6.21/18.4 説明を参照）。

訂正 : カード #42 (参謀 [General Staff])、43 (参謀)、44 (「コレラ [Cholera]」) のテキストは間違いです。最後のセンテンス「オーストリア軍戦闘ユニットを含んでいる部隊の戦闘サイの目に + 1 **DRM**」を無視します。

カウンターの **Errata** :

訂正 : プロシア軍第5 軍団と第6 軍団は、その減少面の名称が逆になっています (PR 5 は裏面に PR 6 を持ち、逆もまた同様です)。

説明 : 2 枚の VP マーカー (プロシア軍とオーストリア軍) があり、それぞれ裏面に DOW を持ちます。動員シナリオ中に、どちらかのマーカーを初期の VP 得点のために使用できます。宣戦布告した陣営は、自軍マーカーを DOW 面に裏返し、もしもそこになければ適切な VP スペース上にそれを置き、ゲームの残りについて使用される唯一の VP マーカーです (4.3 を参照)。同様に、もしもフランス軍の介入があると、新たな状況を示すためにターン・マーカーがフランス軍の介入面に裏返されます。

マップの **Errata** :

訂正 : ゲーム・ターン記録欄 5 月 I は「Ernrst」ではなく「Earnest」と読みます。

説明 : Koblenz と Coblenz は、都市で同じ位置です。

説明 : Strasbourg と Kehl の間には、鉄道があります。

ルールの **Errata** :

3 頁の訂正 : 要塞破壊状態と攻囲下要塞カウンターの標記が逆です。

説明的注釈 6.21/18.4 : 国籍は、動員並びに将軍の配置のために使用されます。2.32 で提供された色体系は、ユニットの国籍グループ (将軍と CUs) を反映します。例えば、ライト・ブルーは、ドイツ連邦ユニットです。この将軍の国籍グループは、ユニットの特定国籍です。例えば、Charles はドイツ連邦のパヴアリア将軍です。将軍の国籍は、ユニットの動員に使用されます。例えば、Alexander of Hesse は、オーストリア軍ユニットの上に置かなければなりません。

9.51 と 10.6 の説明 : 単一の騎兵ユニット (部隊又は軍) は、純歩兵部隊に対して常に戦闘回避できます。

9.51 説明 : 蹂躪を計算しているとき、0 SP の EBC ユニットのあたかも 1 SP ユニットとして扱います。

12.0 退却と追撃 :

12.1 説明 : もしも防御側が退却するためのスペースを持たなければ、すなわち攻撃側がそこから進入した、敵ユニットによって占められた、禁じられた連結のスペースであると、防御側の軍/部隊は除去されます。減少軍団は EBC ユ

ニットによって置き換えられず、存在する将軍は除去されます。

13.0 要塞、大都市、攻囲

1) **13.3 説明**：攻囲の試みを行っている軍は、全体としてそれを実施します。あなたは、複数のユニットを次から次へと活性化させ、複数回の攻囲を試みることはできません。これが意味するのは、軍団は3のMAを持つため、3レベルの要塞を攻囲している軍は活性化毎に一度のみ攻囲の試みを実施できるということです。レベル1又は2の要塞を攻囲している軍は、軍内にあるユニットのMAsと要塞レベルに依存して、おそらく2回の攻囲の試みを実施できます。

2) **13.6 説明**：出撃を実施している部隊は、あたかも攻囲側のスペースへ「進入している」ごとく扱います。これは、全ての意図と目的について意味し、相手側が占めるスペース内への部隊の進入に適用する全てのルールが、出撃を実施している部隊と攻囲している部隊にも適用します。例えば、迎撃、戦闘回避等です。

15.1 説明：ハンガリー軍クラブカ [Klapka] 軍団は、常に補給下です。

16.0 フランス軍の介入：

1) **訂正 16.4**：Chalons は、「Nancy」と読みます。

2) **説明**：Paris は、配置目的におけるフランス軍の唯一の補給センターです。ただし、盤上のフランス軍（オーストリア軍）ユニットが補給 LOC をたどることについては、16.2 と 15.4 を参照してください。

18.4 説明：動員された将軍たちは、それぞれの国籍のユニットの上に置かれなければなりません。例えば、バヴァリア軍ユニットの上にバヴァリア軍将軍を、プロシア軍ユニットの上にプロシア軍将軍等です。(6.21 を参照)

動員から戦争へセット・アップの Errata：

説明と訂正：Flensburg のプロシア軍 ID は完全戦力で、「Swl」ではなく「Slw」と読みます。

七週間戦争セット・アップの Errata：

訂正：オーストリアがプレイしたカード # 2、# 5、# 25。

訂正：Ferrara の部隊に Cialdini を加えます。

訂正：Altona のプロシア軍 ID は、「Swl」ではなく「Slw」と読みます。

訂正：ドイツ同盟国：軍団支援ボックス：「1×Sa ID」は「1×Sx ID」と読みます。

プレイの例 Errata：

p.17 (WOR3) 訂正：2 番目の節、5 番目の文は、「1 を振って成功したので...」と読みます。

p.18 (FOR3) と図 7 の説明：Frankfurt は、現在オーストリアによって支配されているので、オーストリアについて +1 VP となるため、これに従って VP 合計を調整します。

注釈：プレイの例がルールと矛盾する場合、ルールが優先されます。

デザイナーズ・ノートの Errata：

P.21 (連携攻撃と戦闘のシステム) 訂正：1 節の最終文は、「... (フレデリックの低いサイの目に -2 DRM を加えます)」と読みます。更なる説明：ルール・ブック小冊子を通して、Moltke カードの使用に関して +2 DRM ではなく -2 DRM と指示します。

プレイヤー補助カードの Errata：

地形効果 (9.0) の説明：

1) 渡河についての +1 MP コストと戦闘の影響は、2つのスペース間で実際に何度河川を越えても一度のみ適用されます。すなわち、渡河移動／戦闘に、+1 MP と 1 コラム・シフトを超えて適用されません。

2) Flensburg から Altona/Hamburg への連結は、いかなる河川も越えません。スペースの制限のため、Flensburg スペースはマップ上に収めるために埋め合わされました。

John B. Firer, Designer

この Errata シートは、旧版の全てに優先されます。最近の変更は青文字です。